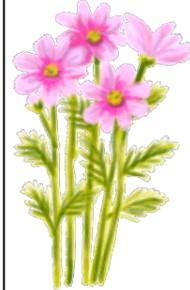


コイノニア



やっと過ごしやすい季節になりましたね。この季節は、“食欲の秋”、“スポーツの秋”、“文化の秋”などと呼ばれますが、みなさんにとってはどのような秋になるのでしょうか？自分の好きなこと、興味のあることを見つけてステキな秋になるといいですね！今月のテーマは、「大切なものを守る」です。まずは自分自身を大切に守ってほしいですが、自分以外にも大切にできるものを増やして欲しいと思っています。

『見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください。』

ルカによる福音書 15:4-6

この聖句が含まれる物語は、有名なイエスのたとえ話です。「100匹の羊を飼っていた羊飼いが、見失った1匹のために、残りの99匹を野原に残して、見つかるまで探し続け、見つけると喜んでその羊を担いで帰った。」というストーリーです。イエスがたとえの最後に、「羊飼いが喜びを他者と共有しようと、『見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください』と言うであろう。」と語っていますが、このたとえ話の中では羊飼いは神さま、見失った羊は私たち1人1人のことを表しています。神さまは、私たち1人1人がどこにいても、どのような状態であっても、必ず探しに来てくれて、見つけてくれて、今、ここに生きていることをとても喜んでくださっているのだ、ということが伝えられています。そして神さまは、私たちに一緒に生きる仲間を与えてくださって、独りぼっちな淋しさから解放して下さって、みんなで生きる喜びを与えてくださるということを教えてくれています。

神さまは「わたし」という1人の人間をとことん大切に守ってくださる存在だということ、イエスは多くのたとえ話で語っています。「大切なものを守る」という今月のテーマには、神さまにとって私たち1人1人がかけがえのない大切な存在で、そのような私たちのいのちを守ってくださっているという聖書のメッセージが隠されているのです。いつも「私は守られているのだ」ということを信じて、毎日を安心して過ごしてほしいと思います。

聖書・キリスト教の漢字～これなんて読むの？～ #06 「預言」

「預言(よげん)」とは、未来のことを言い当てる「予言」とは違い、「神の言葉を預かる」という意味です。旧約聖書にはイザヤやエレミヤなどの「預言者」の活躍が記されていますが、彼らは神さまから預かった言葉を人々に伝え、本当の平和について語った人物でした。また、旧約聖書には多くの預言書がありますが、その中でもイザヤ書、エレミヤ書、エゼキエル書は「三大預言書」と言われています。

“読書の秋”に、みなさんが聖書を読んでくれるとうれしいです。ぜひ一度、旧約聖書の「預言書」を読んでみてくださいね！

10月の予定
月間聖句

『見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください。』
(ルカによる福音書 15:4-6)

月間テーマ 「大切なものを守る」
28日(木) JOCS特別礼拝

“JOCS”とは、日本キリスト教海外医療協力会の略称です。「イエス・キリストの 教えにしたがい 困難のなかにある人々の 健康といのちをまもり、 人々と苦悩・喜びを 分かち合うために」活動している団体です。本校では毎年、海外へ派遣されていたワーカーさんのメッセージを聞く機会を大切にしています。(新型コロナウイルスの影響により予定が変わる場合もあります。)

松山学院ものがたり #06 青年たちの願い(開校への祈り)

「北国の新潟よりも暖かいお正月を迎えたジャジソンは、初週祈禱会に出席していた。二宮はある夜、祈禱会が終わったのち、いつも熱心に祈りを捧げる三人の青年を呼びとめ、ジャジソンの夜学校構想について話をし協力をお願いした。三人は即答はせず、一応よく考えることにした。

そのころの青年たちには、文学、歴史、科学教育、特に英語学習に興味と関心をもっており、外国の教育や習慣を学んで取り入れたいと切望する風潮があった。だからその翌朝、三人の青年は「自分たちは教師としての資格をもってないから報酬は受けない。しかし英語を教えてもらいたい。」と申し出た。ジャジソンは大喜びで、すぐ具体的に計画をすすめることにした。三人の青年もこの大なる計画実現に青春の情熱を注いだ。この三人の青年は、西村清雄、小山至誠、浅尾友樹であった。

西村は、二宮が三人に夜学校の計画について話した夜、神の御旨が励ましと愛を持って自分自身にも強く示されたのを感じた。」(松山城南高等学校創立100周年記念誌『松山城南百年の譜』より)

☆今月の「喜ぶ人と共に」大賞☆ マスクをしてても伝わる笑顔!

体育祭の予行練習から当日を含め、みんなマスク着用をきちんと守っていました。マスクをしててもみんなの笑顔はあふれていました! ☆ Smile & Love & Peace ☆

